



発行
帯広工業団地協同組合
帯広市西22条北2丁目23番地9
電話 37-3146
FAX 37-3645
印刷/全文舎印刷



令和4年度 通常総会

— 目 次 —

1. 表紙
2. 令和4年度 通常総会
4. 令和4年度 事業計画・予算
5. 組合創立60周年記念 実施事業
備品の貸出し（無料）について
6. 第22回 パークゴルフ大会
8. 人材養成補助(金)事業の活用について
～中小企業大学校 旭川校講座等～
会議室利用について
9. 知っておきたい最新医療
「糖尿病や高血圧、心不全などの患者も熱中症弱者」
10. 事務局からのお知らせ・編集後記



組合創立六十周年

令和四年度 通常総会

去る六月二十三日、市内ホテルにおいて令和四年度通常総会を開催しました。

三年振りの招集開催には、委任状を含め百六社（組合員）の出席をいただきました。当組合は本年、組合創立六十周年の節目を迎え、議案審議に先立ち永年役員功労者十名のうち出席頂いた七名の皆様に河合理事長より感謝状の贈呈を行いました。（※受賞者十名の名簿は、記念誌「この十年のあゆみ」に掲載しています。）

また、来賓として帯広商工会議所副会頭梶原雅仁様他四名のご臨席を賜り、来賓を代表して梶原様からご挨拶を頂きました。

議事案件は、令和三年度の事業報告及び決算関係報告並びに令和四年度の事業計画及び収支予算の他関連議案についてご審議頂き、いずれも原案のとおり承認・可決されました。

総会終了後に行われました懇親会は、主催者側として宇佐見副理事長の挨拶、中小企業団体中央会十勝支部 牧村所長様の乾杯のご発声で懇談に入り、和やかなうちに時間が経過し、西藤副理事長の締め言葉で閉会となりました。

お忙しい中、総会・懇親会並びに表彰式にご出席を賜り誠に有りがとうございました。



河合理事長
挨拶要旨

*令和四年度通常総会の開催に当たり、一言挨拶を申し上げる。本日は、お忙しい中、組合員をはじめご来賓の皆様、並びに六十年記念表彰の皆様のご出席を頂き、感謝とお礼を申し上げます。

*この様にお集まり頂くのはコロナの影響により実に三年振りであり、皆さんが一堂にお集まり出来るのは、大変嬉しく感じている。

*昨今、コロナ感染をはじめとした経済への影響が大変な時期を迎えている。円安やウクライナ情勢による輸入・穀物・肥料・石油などの資源、電力・木材など相当値上がりしている。

*しかしながら、明るい話題や可能性もある。ユーグレナ（ミドリムシの一種）からのバイオ燃料・ジェット燃料・ジーゼル燃料の生成などにより、燃料価格の低減が考えられる。また、人工光合成・半導体使用の燃料は、トヨタとNTTが共同で実験設備

を進めており、日本の技術立国に期待する。
*十勝総合振興局が発表した有機肥料の使用について、地力の低下を招く化学肥料から代わる。

*参議員選挙が公示され、新たな政党の話題もあり、政治が変わる可能性も含んでいるのではないかと思う。

*先の話しのように日本は技術立国、色々な開発を進め可処分所得が増える豊かな国になることを願っている。

*本日の総会は、組合創立六十周年記念永年役員功労者の表彰のほか令和三年度事業・決算報告、四年度事業計画・予算等の審議を頂く。よろしくお願いしたい。



梶原副会頭
挨拶要旨

*本日の総会、創立六十周年おめでとうございます。並びに永年役員功労者の方の表彰がありました。本当に長い間お疲れ様でした。

*六十年は、本当に長い。昭和三十七年から組合。その頃は、日本の高度成長期が始まった頃。東京オリピックの開催もあった。その間、オイルショック・バブル経済崩壊などがあり、近年ではコロナの影響が続いている。また、ウクライナ問題を発した石油・エネルギー問題、農産物・原材料の高騰など。

*六十年間には、数え切れない色々な出来事が有った中で、組合が大きな役割を果たしてきた。工業団地協同組合は、異業種の集まり。組合員が手を取り合い、力を合わせて帯広・十勝の経済を支えてきた。ここに大きな意義がある。

*この先、一〇〇周年を見据えて皆さんと共に帯広商工会議所も応援して行きたい。よろしく願います。

ご来賓

- 帯広商工会議所 副会頭 梶原 雅仁様
- (公財)とかち財団 執行役員 森川 芳浩様
- 事務局長 森川 芳浩様
- 株式会社 中央金庫帯広支店 事務局長 森川 芳浩様
- 北海道中小企業団体中央会十勝支部 次長 高橋 武頭様
- 北海道中小企業団体中央会十勝支部 所長 牧村 大造様
- (公財)北海道中小企業総合支援センター十勝支部 支部長 田巻 幸男様

表彰式 受賞者・代表挨拶



感謝状・記念品

河西 智子様

小川 芳勝様

有働 孝弘様

谷保 茂一様

進藤 静江様

渡辺 純夫様

野村 文吾様

懇談会

令和4年度 事業計画と予算

★事業計画

1 福利厚生事業

パークゴルフ大会・ソフトボール大会・野球大会・ゴルフ大会・ボウリング大会・組合員（従業員）還元事業・テニスコートの管理及び貸出 他

2 各種研修会、講習会

一般研修会・派遣研修・資格取得等講習会 他

3 団地内環境整備

一斉清掃・緑地及び道路環境の維持及び改善要望 他

4 人材養成補助事業

補助制度の周知と活用促進

5 十勝産業振興センターの管理業務受託

会議室の使用許可、料金徴収等・敷地内緑地等の環境維持・諸業務再委託者との連絡調整 他

6 地場産業振興のための総合支援

十勝産業振興センター利活用促進

7 組合加入促進活動

道内先進組合活動状況視察・新たな工業団地に関する関係機関との情報交換

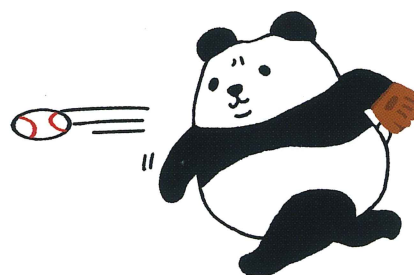
8 企業支援情報の収集及び提供

広報誌「緑のだんち」発行・組合HP運用・他団体講習会等の周知

9 他団体の事務受託

帯広鉄工協会・機械工業会帯広支部

10 関係機関、関係団体との連絡調整



★予 算

収入の部

(単位：千円)

科 目	予算額	摘 要
事業収入	3,749	福利厚生事業参加負担金 団体事務受託料他
賦課金収入	8,376	均等割・差等割
事業外収入	532	配当金・研修会共催負担金他
受託事業収入	16,553	産業振興センター管理 受託料
計	29,210	

支出の部

(単位：千円)

科 目	予算額	摘 要
事業費	5,890	福利厚生事業費 教育情報費 団体事務費 他
一般管理費	6,767	人件費・会議費 他
受託事業費	16,553	産業振興センター管理費
計	29,210	

組合創立60周年記念 実施事業

- ① 記念誌発行「この10年のあゆみ」～組合員・関係機関等へ配布
- ② 永年役員功労者表彰（感謝状・記念品贈呈）～令和4年度通常総会席上
- ③ 組合ホームページ開設～令和4年4月から
※「帯広工業団地協同組合」で検索して下さい。（アドレス obikoudan.jp）
※組合員HPへのリンク随時受付中
- ④ 組合員記念品配布
- ⑤ 冠スポーツ大会開催（再掲）
- ⑥ イベント用テント購入（組合員貸出兼用） 他

備品貸し出し＜無料＞のご案内

組合保有の備品等を、無料で貸し出ししています。ご利用下さい。

■刈払機〔7台保有〕

- ・貸出し台数は、2台以内。貸出し期間は、最大5日間。（貸出日と返納日含む。）



■パークゴルフクラブ〔30本保有 左用有り〕

- ・ボール、ティーも一緒に貸し出します。貸出し期間は、最大5日間。（貸出日と返納日含む。）



■イベント用テント〔アルミ製 2張保有〕

- ・間口3.6M、奥行2.4M
- ・組合員のイベント（展示会・即売会等）・レクリエーション等
- ・貸出し期間は、最大5日間。（貸出日と返納日含む。）



組合創立60周年記念
帯広工業団地
 第22回 **パークゴルフ大会**

** 6チーム27名参加 (個人参加含む) **

* 令和4年6月26日 (日)

* くりりんセンターPG場

★**団体** 『**パナ帯電**』 ~合同チームで初優勝~

【パナソニック スイッチングテクノロジーズ(株)・帯広電子(株)合同】

★**個人** 『**大内 美江子**』さん~4連覇、6回目の優勝

昨日に引き続き真夏日となった6月26日、第22回パークゴルフ大会を開催しました。今年度の大会は、組合創立60周年記念大会として開催し、参加賞のほか今話題の「十勝地サイダー」とリストバンド(記念大会織込み)を皆さんに提供しました。暑さを吹き飛ばす歓声がコースのあちこちから聞こえ、親睦・交流が図られている雰囲気がかげえました。参加者の皆さん大変お疲れ様でした。

来年の参加も心よりお待ちしております。

◆**個人成績**

(敬称略)

順位	氏名	成績		HC	合計
		白樺	柏		
優勝	大内美江子	25	24	10	39
準優勝	松浦喜実男	22	23	—	45
第3位	松浦孝信	23	23	—	46
第4位	下田雅浩	26	21	—	47
第5位	赤坂日出男	24	24	—	48
B B 賞	伊藤幸	53	38	10	81

◆**団体成績**

順位	チーム名	チーム成績
優勝	パナ帯電	191
準優勝	チーム土谷B	211
第3位	赤坂組	219
第4位	チーム土谷A	237
第5位 B B 賞	全文舎印刷& 山田機械工業	260

□ホールインワン賞：下田 雅浩・伊藤 洋平

□ラッキー賞：建部 幸久(第7位)・谷口 二敏(第14位)



人材養成補助事業の活用について

組合では、組合員（企業）が従業員等の資質向上やリーダー養成、企業経営を担う管理部門の人材養成等のために研修会に参加させる場合に、係る経費の一部を補助します。是非、ご活用下さい。

1. 補助制度の区分

研修区分	中小企業大学校旭川校への参加 (札幌開催・サテライト含む。)	派遣研修（自主研修）
◆ 内容	旭川校で開設する講座から、希望する研修コースを選択 (令和4年4月広報誌参照)	自主的に研修内容を決める (例えば、先進又は同業種企業の視察研修等)
◆ 予算枠 (補助対象者数)	15人	1人
◆ 補助限度額	1人当たり 25,000円	1人当たり 50,000円
◆ 1企業当たり 補助対象人員	2人以内（同一講座受講の場合） ※複数講座受講の場合は、5人限度	1人

2. 受講手続き

旭川校に電話にて定員枠の空の確認と同時に仮予約し、併せて、事務局に氏名・人数・研修名を連絡下さい。後日、補助金申請に必要な書類を送付いたします。

■■ 旭川校の申し込み等は、次によりホームページからできます。 ■■

で

会議室利用のご案内

十勝産業振興センターには、大小2つの会議室があり、組合員のほか、一般の方へも貸し出しをしています。貸し出しにあたっては、コロナ感染防止対策のため一部制限を設けており、使用人数の上限を次のように設定（制限）しております。

また、マスク着用、手指消毒をお願いします。

*大会議室⇒60名まで *中会議室⇒16名まで

※使用にあたっての条件及び留意事項の詳細については、とち財団ホームページに掲載していますのでご確認願います。

申し込み・問い合わせ先

帯広工業団地協同組合

TEL：0155-37-3146 FAX：0155-37-3645

知っておきたい最新医療

『糖尿病や高血圧、心不全などの患者も熱中症弱者』

熱中症にかかりやすい熱中症弱者といえ、お年寄りと子どもが広く知られているが、それだけではない。

働き盛りの中高年世代にも熱中症弱者が少なくないのだ。血糖のコントロールがままならない糖尿病患者や、血圧を下げる利尿薬や β ブロッカーなどの降圧剤を服薬している高血圧や心不全などの患者も、間違いなく熱中症弱者といえるだろう。

なぜ、糖尿病患者は熱中症になりやすいのか。糖尿病患者は血液中のブドウ糖濃度が高く、それを薄めようとして血管の外側から水分を取り込み続ける。血液中に増えた水分は、尿として体外に排泄する浸透圧利尿が生じる。その結果、体内の水分不足＝脱水症状を招いて熱中症にかかりやすくなるのだ。加えて、糖尿病患者はしばしば自律神経に支障をきたしているため、「暑さを感じにくい」「汗をかきにくい」という理由もあげられる。

では、「ラシックス」（一般名フロセミド）、「フルイトラン」（一般名トリクロルメチアジド）などの利尿薬や、「テノーミン」（一般名アテノロール）、「メインテート」（一般名ビソプロロール）などの β ブロッカーを処方されている高血圧や心不全などの患者は、どうして熱中症弱者なのか。

利尿薬が血圧を下げたり心臓の負担を減らすことができるのは、血液中の水分を尿として排泄し、血液そのものの量を減らすからだ。脱水によって治療効果を得ていることから、当然熱中症にかかりやすくなる。一方、 β ブロッカーは、心臓をリラックスさせて血圧を下げ、心臓の負担を軽くする。体内に熱がたまると、体温の上昇を抑えるために熱を放出しなければならない。体表面の血流を増やすことで、皮膚から外気への熱伝導を促進し、大量の発汗と、汗の蒸発時に身体から奪う気化熱で体温の低下をはかる。

体内にたまった熱を体外へ汲み出すのが血液で、汲み出すスピードをつくっているのが心臓のポンプ機能だ。しかし、その心臓のポンプ機能を落としてしまうのが β ブロッカーだから、熱中症にかかりやすくなるのである。

そのうえ、高血圧や心不全などの患者は主治医から塩分・水分制限を指示されていることが多いため、さらに熱中症にかかりやすいというわけだ。だからといって、一概に「利尿薬や β ブロッカーの服用をやめたほうがよい」とはいえない。病状に即して、主治医とよく相談しながら適切な熱中症対策を講じなければならない。

糖尿病や高血圧、心不全などを持病に持つ中高年は、暑さで身体が辛いと感じたら、コンビニやファミレスなどにこまめに立ち寄り、身体をクールダウンさせることが必要だ。保冷機能付きの水筒を持ち歩き、冷水を飲んで身体を直接冷やすことも大切である。

※参考：熱中症の予防法

- ◆こまめに水分補給をしている。
- ◆エアコン・扇風機を上手に使用している。
- ◆シャワーやタオルで体を冷やす。
- ◆部屋の温湿度を測っている。
- ◆暑い時は無理をしない。
- ◆涼しい服装をしている。
- ◆外出時には日傘、帽子。
- ◆部屋の風通しを良くしている。
- ◆緊急時・困った時の連絡先を確認している。
- ◆涼しい場所・施設を利用する。

〔商工ジャーナルより〕

事務局からのお知らせ

■ 当面の行事予定です。 ■

* 帯広工業団地協同組合

- ・ 7月10日(日) 第41回 ソフトボール大会
- ・ 7月22日(金) 労働保険事務・健康づくり講習会
- ・ 7月30日(土) 十勝みどり会 合同ゴルフコンペ
- ・ 8月3日(水) 北海道中小企業団体中央会 全道大会
- ・ 8月21日(日) 第53回 野球大会
- ・ 8月25日(木) 第39回 ゴルフ大会
- ・ 9月3日(土) 十勝みどり会 第3回ゴルフコンペ
- ・ 10月5日(水) 秋の一斉清掃

* 帯広鉄工協会

- ・ 7月15日(金) 7月例会
- ・ 8月6日(土) 8月例会 (移動)
- ・ 9月15日(木) 9月例会



世界の名言

『人は人に対しておおかみ狼である』

【ホップズ：イギリス 哲学者】

権力節を唱えた彼が、その権力の強さを人間の世界にあてはめて述べた言葉である。人間はまことに無残なことを平気で行うものである。それが自然の摂理であるとも考えていた。

事実、この言葉通りのことが数多く行われていたし、現在もある意味では行われていることは否定できない。

編集後記

◆ 『こども用ハーネス』を見たり聞いたことはありませんか？。ハーネスと言えばペットの散歩や工事現場で使用するものと思ひ浮びますが、いずれも命綱。子どもにハーネスを付けることに對して否定的・肯定的な様々な意見があるようです。「あんなの犬じゃん」、

「手をつないで買物、散歩する時などすぐ手を放してチヨロするので近くに居てくれる安心感がある」など。人それぞれ思いや考え方が有るのだらうが、親子の絆として微笑ましい光景ではないでしょうか。温かく見守りましょう。大人も子ども道路への飛び出しは、大変危険です。交通事故を起こさない、あわなしい、安全で安心な社会にしましょう。

◆ 昨年の広報誌に掲載しましたが、我が家のサクランボが、今年も色づき始めています。収穫前(ほんの数えるくらいの数ですが…)に、カラスが食しているのを発見して追ひ払って見たのですが、すぐに舞い戻り平然と食の続きを開始しています。何か良い方法は有りませんか？

(事務局)